

## 図書紹介

◎熱帯雨林 (A Tropical RAINFOREST—The nature of biodiversity in Borneo at Belalong, Brunei—, Earl of CRANBROOK・David S. EDWARDS 編, 1994, 389 pp., Sun Tree Publishing, Singapore, 邦価約 2,700 円)

本書はイギリスの王立地理学会 (The Royal Geographical Society) とブルネイ・ダルサラーム大学 (Universiti Brunei Darussalam) によって、1991 年、1992 年におこなわれた共同プロジェクト「The Brunei Rainforest Project 1991/1992」の成果を一般向けにまとめたものである。このプロジェクトは、ブルネイの西に位置する“Batu Apoi Forest Reserve”内の Belalong forest で実施された。本書は Belalong forest の概略に始まり、気候、地形の形成プロセス、土壌、森林の構成、熱帯雨林の動植物、熱帯雨林と人、熱帯雨林の未来など多岐にわたっており、熱帯雨林のなかでも東南アジアの、しかもブルネイの一地域である Belalong forest についてではあるが、熱帯雨林の概要を知るうえで十分な情報が満載されている。また、うれしいことに最新の研究が写真入りで紹介されていたり、調査方法や結果が絵を使ってわかりやすく説明されている。それぞれの分野を深く踏み込んで知りたい方には物足りないかも知れないが、たとえば植物に興味がある人であっても、本書中の土壌のエロージョン測定実験、樹上動物の燻蒸採取など熱帯雨林における他分野の調査風景の写真にはかなり好奇心をそそられるのではないだろうか。その他にもクワ科の *Artocarpus* では、林内の幼木の葉は形態的に成木のものとは異なるとよく聞かすが、それを実際に写真でみることができるなど、文章ではわからない形態的な特徴が写真によって補われている。

ところで、いままでの熱帯雨林を紹介した本に不満を持っている方は多いのではないだろうか。そこでこの本に注目して欲しい。ふんだんに使われている色彩豊かな写真は、見る人に改めて自然の美しさや豊かな生態系を認識させるだろうし、数々の森林の姿や動植物の写真は、これまで文字にたよって想像力を目一杯働かせるしかなかった人にとって、良き手助けとなるに違いない。またいろんな調査風景を紹介している点でも出色の存在でもある。熱帯雨林に興味のある人、これから学ぼうとする人は今までの欲求不満を解消する一冊としてこの本を読んで (視て) もらいたい。

(加藤 剛)